



令和8年3月24日

報道関係 各位

名古屋市立大学大学院経済学研究科 経済学部
准教授 山本奈央
(電話：052-872-5064)

名古屋市立大学生が考えたペットへの愛情を深めるためのノートを 大阪書籍印刷（株）が商品化 ～ペットへの「愛おしい」が増すノート「Moflog(モフログ)」～

名古屋市立大学経済学部4年のチーム「NiCiU」（小野田 愛叶、加藤 豊乃香、高知 杏、椿井 優心、指導教員：山本 奈央）が実際に商品化を目指す大学ゼミ対抗のインターカレッジ S カレ（Student Innovation College 以下 S カレ）2025 にて提案したペットへの愛情を深めることを目的としたノート「Moflog（モフログ）」が商品化の運びとなりました。

今回は、学生の企画提案を採用した大阪書籍印刷株式会社（所在地：大阪市西淀川区、代表取締役：成田節夫）が発売元となり、4月11日（土）に未来屋書店新瑞橋店（名古屋市南区、イオンモール新瑞橋店内）、4月15日（水）～20日（月）の「文具女子博 pop-up in 博多」で先行発売、4月21日（火）から大阪書籍印刷株式会社のECサイト「archshop」で一般発売する予定です。

また、未来屋書店新瑞橋店では発売日の11日に、商品や開発経緯を学生たちが説明するイベントを実施します。





【Moflog (モフログ) とは】

ペットとの愛おしい日々をユーモアたっぷりに記録して振り返るためのノートです。ノートの種類は、犬、猫、うさぎ、鳥の4種類。一般的なペットの健康記録や飼育日記とは少し異なり、日々の思い出やペットの表情・行動から伝わる気持ちなど“可愛い”を主に記録し、愛情をさらに深めることを目的としています。

ページの中身は各動物共通の項目だけでなく、猫なら「今日はツンデレのどちらか？」といった動物種別による独特の個性を反映。「今日の愛おしいポイント」や「今日のいたずら」などの項目を短文で埋める、いずれも簡単な記入方式で、記録のハードルが低く続けやすい仕様となっています。また、軽量で持ち運びもしやすく、いつでもどこでもペットのことを思い出すことができます。

【Moflog が誕生した背景】

名古屋市立大学経済学部でマーケティングを学ぶ山本ゼミの4名で構成される「NiCiU」チームが2025年6月よりゼミ活動の一環として、Sカレに参加。大阪書籍印刷株式会社が提示したテーマ「誰かがしあわせになる紙文具」に対して、「ペットとのしあわせを綴る日々」を提供する商品「Moflog」として提案をしました。

チームはグループインタビューや使用テストを実施し、「出来事だけでなく感情も残せるところが良い！」(50代女性)、「家族とのコミュニケーションが増える」(30代女性)など高評価をいただきました。また、コンセプトテスト(n=86 Google Formにて集計)では、「ペットとの思い出作りに役立つと思うか？」の問いに対し、「非常にそう思う」が33.7%、「そう思う」41.9%、「少しそう思う」14.0%で、ポジティブな回答が89.6%。「ペットをより愛おしく感じられると思うか？」に対し、「非常にそう思う」が39.5%、「そう思う」38.4%、「少しそう思う」14.0%で、ポジティブな回答が91.9%となっています。

こうした調査の結果をもとにした提案が評価され、今回の商品化に至りました。

【仕様】

■商品概要

*商品名「Moflog」(モフログ)

*サイズ：A6

*ページ数：36ページ

*価格：¥750(税込)

*種類：犬、猫、鳥、うさぎ

*ビニールカバー付き



■ 先行販売の学生参加イベント

日程：2026年4月11日（土）

場所：未来屋書店新瑞橋店

内容：特設コーナー、POPの設置、商品価値の説明を店内にて学生が行います

【名古屋市立大学経済学部について】



名古屋市立大学経済学部は、地元経済界の熱い期待を受けて1964年に設置され、今年で創立62周年を迎えます。幅広い教養と豊かな人間性を身に付け、経済学と経営学の諸理論に精通し、社会の様々な課題に対応できるような人材の育成を目標としています。

URL：名古屋市立大学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

【大阪書籍印刷株式会社について】



明治42年に教科書の編集・出版で創業し、書籍印刷を軸とした100年の歴史を有していますが、デジタル化によって市場が縮小する中での成長戦略が課題。このため、書く楽しみを広げるオリジナルブランド商品を企画し、自社ECショップ「archshop」や書籍・文具店、一般小売店などでの展開を進めています。近年、スマートフォンなどの普及による活字離れで紙の利用は減少していますが、「紙の方がいいもの」「書く楽しみがあるもの」「見返した時に自筆の方が感慨深いもの」「デジタルでは不可能な、紙ならではの体験」などは、探せば無限にあります。従来型の発想や思考にとらわれず、消費者に新鮮さと楽しみを提供できる印刷会社を目指しています。

URL：大阪書籍印刷株式会社ウェブサイト <https://www.os-in.com/>

<プレスリリース・記事掲載・取材・画像に関するお問い合わせ>

名古屋市立大学 経済学部 山本 052-872-5064 nao@econ.nagoya-cu.ac.jp